

平成 28 年度 第 3 回番組審議会

議 事 録

株式会社エフエム戸塚

横浜市戸塚区川上町 91 番地 1

平成 28 年 9 月 10 日

平成 28 年度 第 3 回番組審議会 議事録

- 日 時 : 平成 28 年 9 月 10 日 (土) 12:30~14:00
 - 場 所 : 株式会社エフエム戸塚会議室
 - 出席者 : 番組審議会委員 5 名 (総数 7 名)
 - 審議会委員 : 福嶋 隆太郎、福島 雅樹、大滝 紀子、本橋 修、森 祐美子
 - 事務局 : 紺野 望、吉川 雅子
 - 議事録 : 番組審議会事務局作成
-

■議題

1. 番組「totsuka heartfelt kitchen 金曜日」に関するご意見について
2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について
3. その他ご意見ご感想について

■議事

1. 番組「totsuka heartfelt kitchen 金曜日」に関するご意見

番組「totsuka heartfelt kitchen 金曜日」2016 年 7 月 29 日 (金) に放送

事務局

- ・totsuka heartfelt kitchen は月曜～金曜の 12 時～13 時 55 分に生放送している、お昼の地域情報番組。水曜と金曜は戸塚のスタジオから放送している。
- ・第 1、第 3 金曜は社会福祉協議会、第 4 金曜は港南区が出演。第 2 金曜は月ごとに様々なゲストを迎えて放送している。
- ・金曜は戸塚情報に加え、13 時台には野村證券のコーナーがある。
- ・パーソナリティーの井筒は 2 年目。

一各審議会委員からの意見は次の通りである。

審議会委員(A)

- ・パーソナリティー 2 年目の経験ということもありフレッシュさを感じる一方で、まだパーソナリティーになったばかりの印象を受けた。話すスピードや声のトーンは聞きやすくて良い。
- ・コメントから、趣味や人柄が伝わってきた。
- ・はしご酒ライブの前に時間を言い間違えていたが、後から間違いをフォローした方が良かった。
- ・ニュースでは噛むことが多かった。下読み不足か。初見で読む場合は、練習を重ねる必要があると思う。
- ・はしご酒ライブでは視聴者の共感を呼ぶように感情を出した方が良かった。イベント内容をもう少し売り込んでほしい。
- ・折り紙や平賀源内の話など、ところどころに教養の高さを感じた。
- ・選曲は梅雨明けの夏らしさを感じる選曲で良かった。

- ・横浜のおすすめスポットについてメールを募集していたが、件数が少なく残念だった。もう少しほしかった。リスナーは聴いている人が少ないのかな、と思ったりする。工夫がほしい。

審議委員(B)

- ・土用の丑の日の由来を取り上げており、その由来などを知り、教養が深まって良かった。
- ・緊急割り込み放送の終わりのマイクの音が気になった。
- ・ニュースの原稿を放送前に何回か読んだ方が良い。固有名詞の間違が多いので、調べたり練習したりすべき。
- ・温かい声が良い。情報が通り一遍にならぬよう現場を歩いた方が良い。戸塚に住んでいなくても、戸塚の街や人の集まる場所を歩いてみて、雰囲気をもっと知った上で情報伝達をしてほしい。

審議委員(C)

- ・テーマを何度も繰り返すがメールの紹介が1通しかなかった。テーマと2時間の番組がかみ合っていない。
- ・緊急割り込み放送がさらっと終わった。もう少し文を強調すべき。
- ・はしご酒ライブのゲスト内容がいまいちはっきりしなかった。お客様とミュージシャンの両方が店をはしごするということが伝わりづらかった。
- ・熊本地震の義援金の話をもう少し膨らませるべきだった。
- ・全体としては良い番組だが、「聞こう」と思わせられていなかった。

審議委員(D)

- ・聞いていて疲れない声で良い。
- ・ニュースと他の声のトーンの差をはっきり意識しているのが伝わった。ニュースの読み方が単調だが、緊張が伝わってくる感じがある。下読みをもう少しほしいところ。
- ・はしご酒ライブの去年と今年の違いを知ることができた。
- ・はしご酒ライブに関して、最後にもう一度情報を伝えた方が良い。途中から興味が出てきた人のために、チケット入手の方法等参加することに繋げられる情報を発信すべき。
- ・緊急割り込み放送は普段から訓練して置くことは大切で、災害に対してとてもいい対策だ。
- ・森高千里の曲の終わりの切れ方が目立った。楽曲がゆっくり聴ける場合と1分半ほどで終わってしまうのがある。もう少しバランスのある聴かせ方があってもいいのではないか。

審議委員(E)

- ・話が聴きやすくわかりやすい。
- ・横浜のおすすめスポットがなかなか出ないまま終わってしまった。もう少し時間を割いてメールを紹介したり現場で店長に話を聞いたりすると臨場感があって良い。今日のテーマと言っている以上、もう少しリスナーに届く情報を伝えてほしい。
- ・イントロの声のトーンが非常に良い。

2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について

—各審議委員からの意見：各委員からの意見は次の通りである

審議委員(D)

- ・現在はネットで情報を検索する時代、その反面、知らなければいけない情報を知らないことがある。選ばれた情報が自然と流れてくるという、ラジオの特徴こそ防災の面で必要性が高い。

審議委員(C)

- ・エフエム戸塚を店内で流してもらうよう営業努力をすともう少し身近になると思う。
- ・あらかじめ原稿が来ている部分は内容を膨らませて話してほしい。

審議委員(B)

- ・放送前に原稿や大まかな内容を上の人にチェックしてもらった方が良い。番組を提供してもらっているスポンサーを考えると、しっかりした情報を放送すべきと思うが・・・。
- ・同じ原稿を読むときに機転がきくかどうか、戸塚を知っているかどうかの差が出る。
- ・イベントの状況を知らないとイベントのことが話せないで、パーソナリティーは全員現場を体験すべきですね。大変だが上辺だけの話し方にならないよう心掛けることが大事。

審議委員(A)

- ・番組のパーソナリティーに伝える内容を、前向きなアドバイスを行うには定例の番組会議を行うことがより向上するのではないか。良い方法と良い。
- ・割り込み放送が入ったとわかる2～3秒の音があると良い。
- ・割り込み放送終了後の音が出にくいスイッチやシステムがあると良い。

事務局

- ・パーソナリティーの情報を第三者がチェックする方法ですが、大方のコミュニティ放送はパーソナリティー一人で番組を作る局とディレクターがついて2人以上でつくる局がある。第三者がチェックできる体制を作るには人件費が必要で収入規模が大きな局でないとなかなか難しい。
- ・また前もって原稿をチェックする時間を捻出するのも容易ではない。ディレクターがスタジオに常駐するというのも一つの方法だが現実的には厳しい。当局は放送部長がスタジオにいる場合は協力体制を取っている。
- ・割り込み放送について、この放送はあくまで訓練なので、聞きやすい歌なし音楽を選んだ方がいいという意見もあり、考えてみたい。
- ・各番組のパーソナリティーには、リスナーを引き込める会話を意識し、一辺倒にならないよう注意して行きたい。
- ・番組コーナーの「それ野村に聞いてみよう」は生放送と違ったトーンで対話していたので、録音かと思われる節があったが、野村の社員もパーソナリティーも原稿を読むのに必死で棒読みな印象を受ける。もう少し、お金が生活に深く結び付いている話を会話調で聞かせたら、もっと興味を引き出せると思う。その点を今後指導したい。

3. その他の意見、感想

- ・機材が必要になるが、接触している区の情報伝達も協力してやっていけたら良い。
- ・ネットで聴くラジオが多くなっている現状なので、FM戸塚ももっとPRを行うべき。
- ・モレラパークに屋根があるから雨天時もイベントが出来て良い。
- ・読売新聞湘南版を使うとより地域密着な情報伝達ができるのではないか。
- ・神奈川新聞の記事を紹介するのは良い。戸塚と結びついた情報をピックアップするのは、読売新聞の全国ニュースと比べて、身近に感じてと良いと思う。

■審議会は、次回の日程を確認し終了した。

次回開催日：平成 28 年 11 月 12 日（土）12：00 から